

其葉すぢ
正々たるし

寛政文庫



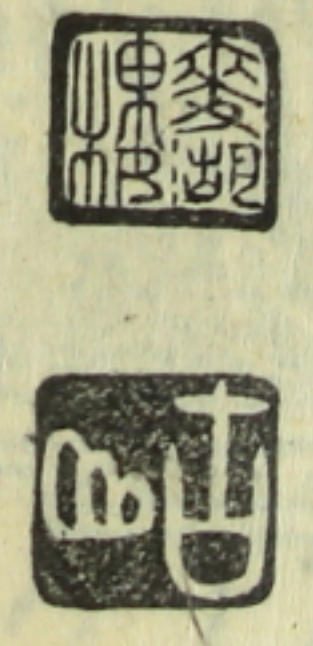
高山隱士
龜玉寫

Two red square seals, likely artist or collector marks.

清し車楽武へちうりきよは流をいよる若飾
たふ家やまの房のゆるはめやのよい
言ひ流しおこりれ思きまつまこ念一う
きよも今ゆる士の名よりへり
出づるわいしは依まねたれ
後房をこころ

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 一百、
 一百一、
 一百二、
 一百三、
 一百四、
 一百五、
 一百六、
 一百七、
 一百八、
 一百九、
 二百、
 二百一、
 二百二、
 二百三、
 二百四、
 二百五、
 二百六、
 二百七、
 二百八、
 二百九、
 三百、
 三百一、
 三百二、
 三百三、
 三百四、
 三百五、
 三百六、
 三百七、
 三百八、
 三百九、
 四百、
 四百一、
 四百二、
 四百三、
 四百四、
 四百五、
 四百六、
 四百七、
 四百八、
 四百九、
 五百、
 五百一、
 五百二、
 五百三、
 五百四、
 五百五、
 五百六、
 五百七、
 五百八、
 五百九、
 六百、
 六百一、
 六百二、
 六百三、
 六百四、
 六百五、
 六百六、
 六百七、
 六百八、
 六百九、
 七百、
 七百一、
 七百二、
 七百三、
 七百四、
 七百五、
 七百六、
 七百七、
 七百八、
 七百九、
 八百、
 八百一、
 八百二、
 八百三、
 八百四、
 八百五、
 八百六、
 八百七、
 八百八、
 八百九、
 九百、
 九百一、
 九百二、
 九百三、
 九百四、
 九百五、
 九百六、
 九百七、
 九百八、
 九百九、
 一千、
 一千一、
 一千二、
 一千三、
 一千四、
 一千五、
 一千六、
 一千七、
 一千八、
 一千九、
 二千、
 二千一、
 二千二、
 二千三、
 二千四、
 二千五、
 二千六、
 二千七、
 二千八、
 二千九、
 三千、
 三千一、
 三千二、
 三千三、
 三千四、
 三千五、
 三千六、
 三千七、
 三千八、
 三千九、
 四千、
 四千一、
 四千二、
 四千三、
 四千四、
 四千五、
 四千六、
 四千七、
 四千八、
 四千九、
 五千、
 五千一、
 五千二、
 五千三、
 五千四、
 五千五、
 五千六、
 五千七、
 五千八、
 五千九、
 六千、
 六千一、
 六千二、
 六千三、
 六千四、
 六千五、
 六千六、
 六千七、
 六千八、
 六千九、
 七千、
 七千一、
 七千二、
 七千三、
 七千四、
 七千五、
 七千六、
 七千七、
 七千八、
 七千九、
 八千、
 八千一、
 八千二、
 八千三、
 八千四、
 八千五、
 八千六、
 八千七、
 八千八、
 八千九、
 九千、
 九千一、
 九千二、
 九千三、
 九千四、
 九千五、
 九千六、
 九千七、
 九千八、
 九千九、
 一万、
 一万一、
 一万二、
 一万三、
 一万四、
 一万五、
 一万六、
 一万七、
 一万八、
 一万九、
 二万、
 二万一、
 二万二、
 二万三、
 二万四、
 二万五、
 二万六、
 二万七、
 二万八、
 二万九、
 三万、
 三万一、
 三万二、
 三万三、
 三万四、
 三万五、
 三万六、
 三万七、
 三万八、
 三万九、
 四万、
 四万一、
 四万二、
 四万三、
 四万四、
 四万五、
 四万六、
 四万七、
 四万八、
 四万九、
 五万、
 五万一、
 五万二、
 五万三、
 五万四、
 五万五、
 五万六、
 五万七、
 五万八、
 五万九、
 六万、
 六万一、
 六万二、
 六万三、
 六万四、
 六万五、
 六万六、
 六万七、
 六万八、
 六万九、
 七万、
 七万一、
 七万二、
 七万三、
 七万四、
 七万五、
 七万六、
 七万七、
 七万八、
 七万九、
 八万、
 八万一、
 八万二、
 八万三、
 八万四、
 八万五、
 八万六、
 八万七、
 八万八、
 八万九、
 九万、
 九万一、
 九万二、
 九万三、
 九万四、
 九万五、
 九万六、
 九万七、
 九万八、
 九万九、
 十万、
 十万一、
 十万二、
 十万三、
 十万四、
 十万五、
 十万六、
 十万七、
 十万八、
 十万九、
 十一万、
 十一万一、
 十一万二、
 十一万三、
 十一万四、
 十一万五、
 十一万六、
 十一万七、
 十一万八、
 十一万九、
 十二万、
 十二万一、
 十二万二、
 十二万三、
 十二万四、
 十二万五、
 十二万六、
 十二万七、
 十二万八、
 十二万九、
 十三万、
 十三万一、
 十三万二、
 十三万三、
 十三万四、
 十三万五、
 十三万六、
 十三万七、
 十三万八、
 十三万九、
 十四万、
 十四万一、
 十四万二、
 十四万三、
 十四万四、
 十四万五、
 十四万六、
 十四万七、
 十四万八、
 十四万九、
 十五万、
 十五万一、
 十五万二、
 十五万三、
 十五万四、
 十五万五、
 十五万六、
 十五万七、
 十五万八、
 十五万九、
 十六万、
 十六万一、
 十六万二、
 十六万三、
 十六万四、
 十六万五、
 十六万六、
 十六万七、
 十六万八、
 十六万九、
 十七万、
 十七万一、
 十七万二、
 十七万三、
 十七万四、
 十七万五、
 十七万六、
 十七万七、
 十七万八、
 十七万九、
 十八万、
 十八万一、
 十八万二、
 十八万三、
 十八万四、
 十八万五、
 十八万六、
 十八万七、
 十八万八、
 十八万九、
 十九万、
 十九万一、
 十九万二、
 十九万三、
 十九万四、
 十九万五、
 十九万六、
 十九万七、
 十九万八、
 十九万九、
 二十万、
 二十万一、
 二十万二、
 二十万三、
 二十万四、
 二十万五、
 二十万六、
 二十万七、
 二十万八、
 二十万九、
 二十一万、
 二十一万一、
 二十一万二、
 二十一万三、
 二十一万四、
 二十一万五、
 二十一万六、
 二十一万七、
 二十一万八、
 二十一万九、
 二十二万、
 二十二万一、
 二十二万二、
 二十二万三、
 二十二万四、
 二十二万五、
 二十二万六、
 二十二万七、
 二十二万八、
 二十二万九、
 二十三万、
 二十三万一、
 二十三万二、
 二十三万三、
 二十三万四、
 二十三万五、
 二十三万六、
 二十三万七、
 二十三万八、
 二十三万九、
 二十四万、
 二十四万一、
 二十四万二、
 二十四万三、
 二十四万四、
 二十四万五、
 二十四万六、
 二十四万七、
 二十四万八、
 二十四万九、
 二十五万、
 二十五万一、
 二十五万二、
 二十五万三、
 二十五万四、
 二十五万五、
 二十五万六、
 二十五万七、
 二十五万八、
 二十五万九、
 二十六万、
 二十六万一、
 二十六万二、
 二十六万三、
 二十六万四、
 二十六万五、
 二十六万六、
 二十六万七、
 二十六万八、
 二十六万九、
 二十七万、
 二十七万一、
 二十七万二、
 二十七万三、
 二十七万四、
 二十七万五、
 二十七万六、
 二十七万七、
 二十七万八、
 二十七万九、
 二十八万、
 二十八万一、
 二十八万二、
 二十八万三、
 二十八万四、
 二十八万五、
 二十八万六、
 二十八万七、
 二十八万八、
 二十八万九、
 二十九万、
 二十九万一、
 二十九万二、
 二十九万三、
 二十九万四、
 二十九万五、
 二十九万六、
 二十九万七、
 二十九万八、
 二十九万九、
 三十万、
 三十一万、
 三十二万、
 三十三万、
 三十四万、
 三十五万、
 三十六万、
 三十七万、
 三十八万、
 三十九万、
 四十万、
 四十一万、
 四十二万、
 四十三万、
 四十四万、
 四十五万、
 四十六万、
 四十七万、
 四十八万、
 四十九万、
 五十万、
 五十一万、
 五十二万、
 五十三万、
 五十四万、
 五十五万、
 五十六万、
 五十七万、
 五十八万、
 五十九万、
 六十万、
 六十一万、
 六十二万、
 六十三万、
 六十四万、
 六十五万、
 六十六万、
 六十七万、
 六十八万、
 六十九万、
 七十万、
 七十一万、
 七十二万、
 七十三万、
 七十四万、
 七十五万、
 七十六万、
 七十七万、
 七十八万、
 七十九万、
 八十万、
 八十一万、
 八十二万、
 八十三万、
 八十四万、
 八十五万、
 八十六万、
 八十七万、
 八十八万、
 八十九万、
 九十万、
 九十一万、
 九十二万、
 九十三万、
 九十四万、
 九十五万、
 九十六万、
 九十七万、
 九十八万、
 九十九万、
 一百万

夏湖楼



撰抄

歌仙

風草花のつ子や若菜は降
 市に花をれ習ふ者も
 肩ふくまゝおろさへ牛も好む
 蹄を何ちへをさき也
 拂へとも二階は舞ふる乃乃自
 峯雪

古山

秋風

古道

巨鈎

琴堂

峯雪

新橋の宿を標を歩九折

十史

思れ便ハを歩く

花明

連新橋の名新橋ハ合形

喜潮

此許陰影ハ照ハ並ん

冬川

雨晴ハ座之の右七日を

序猿

扇目を志ハぬこぼ舞女の夕粉

重語

壁壁ハ落ハ茶室へ通

仙花

盟ハ何少ハ留ハ月影

楓人

新車ハもむらの方志ハ

北釜

巻林ハハ粥ハハハハハ

百丈

此新橋ハハハハハハハ

老梅

欠ハハハハハハハハハ

柯涼

ハハハハハハハハハハハ

秋光

路ハハハハハハハハハ

翠浮

陶ハハハハハハハハハ

朱雁

ハハハハハハハハハハハ

菊園

敗軍の軍の軍を自榜

左右

自榜の軍の軍を自榜

朝白

音神の端の端を自榜

其雄

厚風の下の同語へはは

止結

耳の音中へはは

五竹

糸の端の端を自榜

野庄

遠る七月の欠る廿日

時来

龍に繋柳を係り

飛来

多々ぬお原の鳥帽子か

百雉

只燈拍子に名ぬか

杜雲

正月啼の力をもてて

春風

推のまのまを

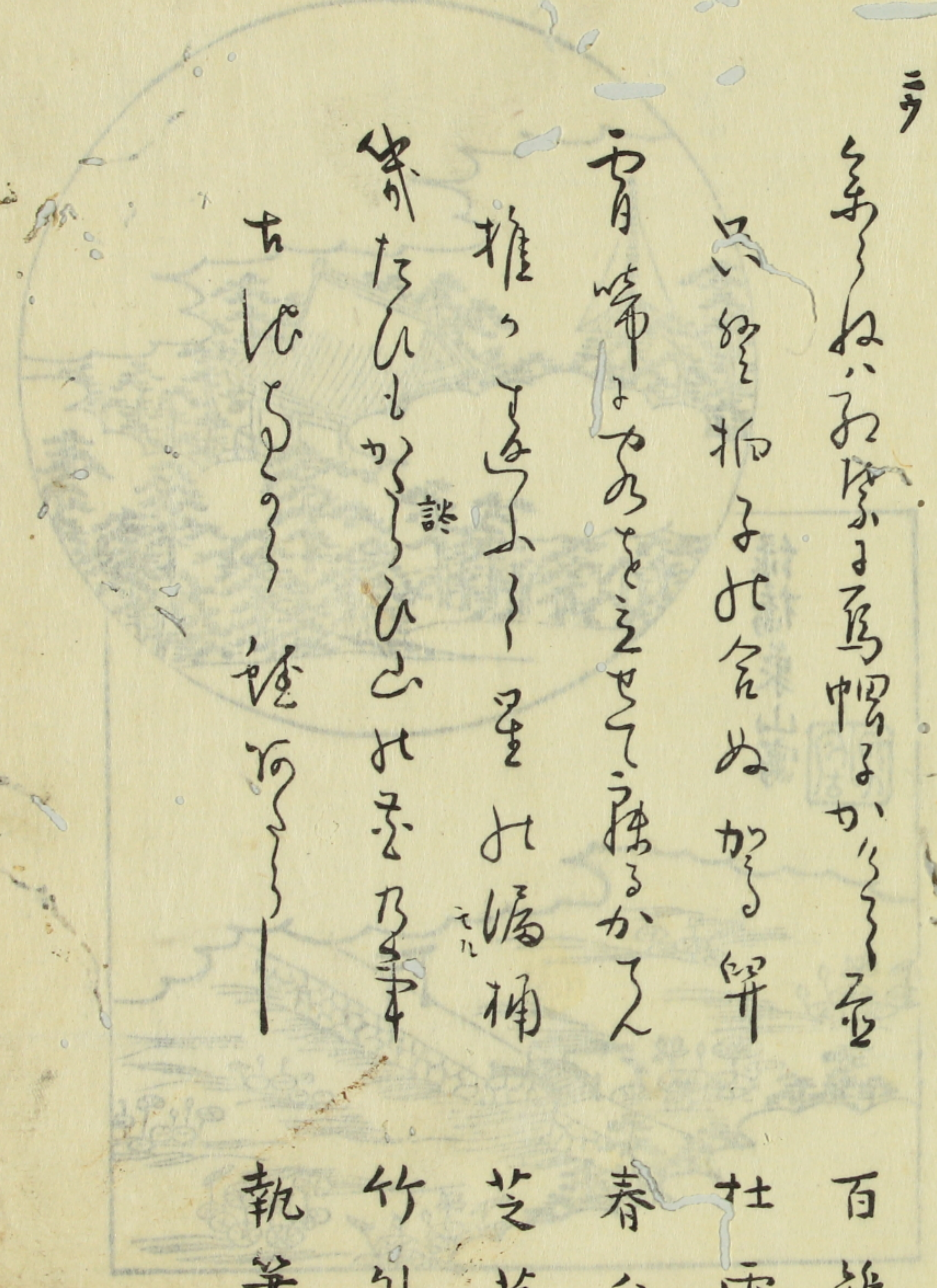
芝英

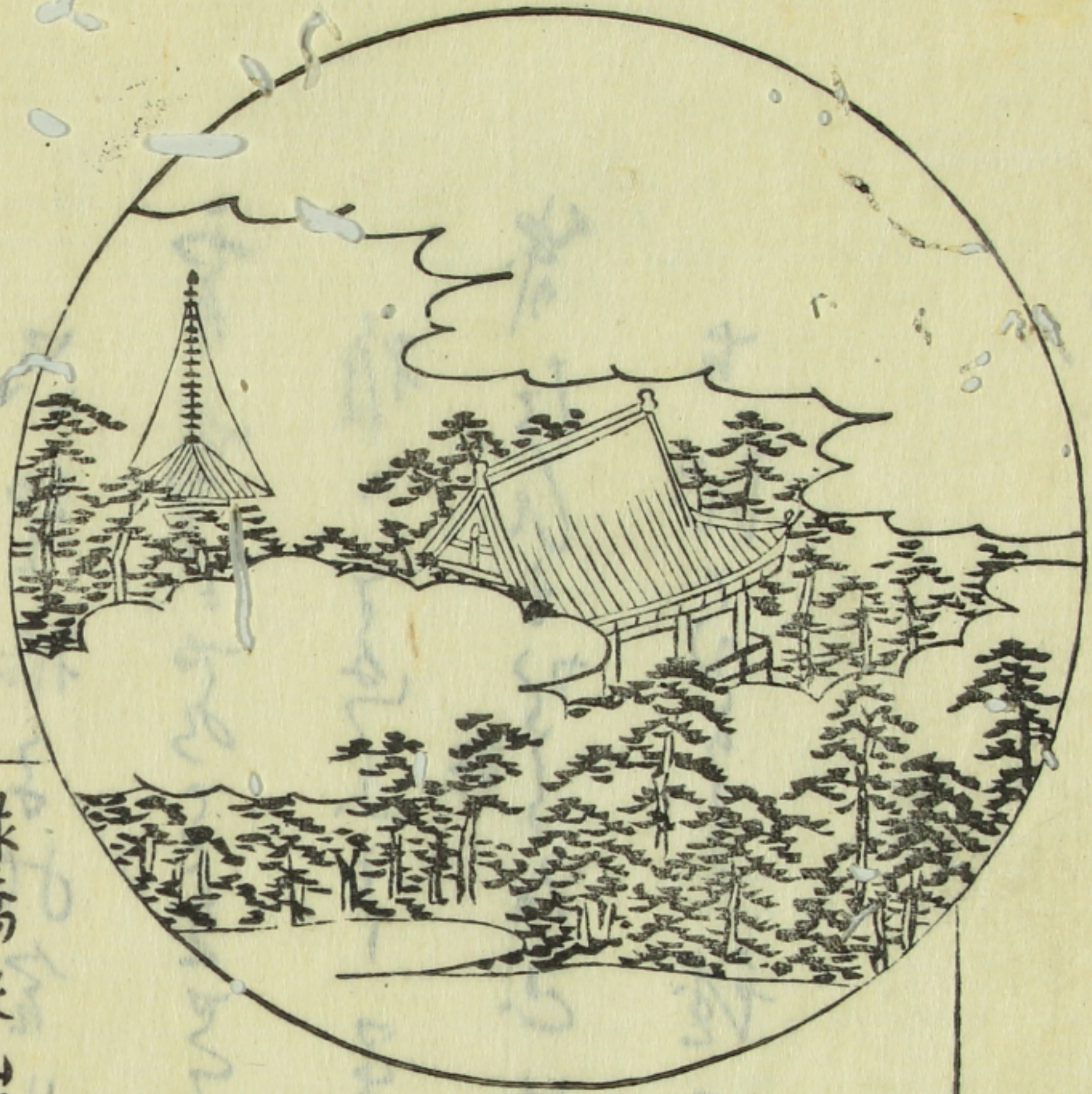
紫のたのたか

竹外

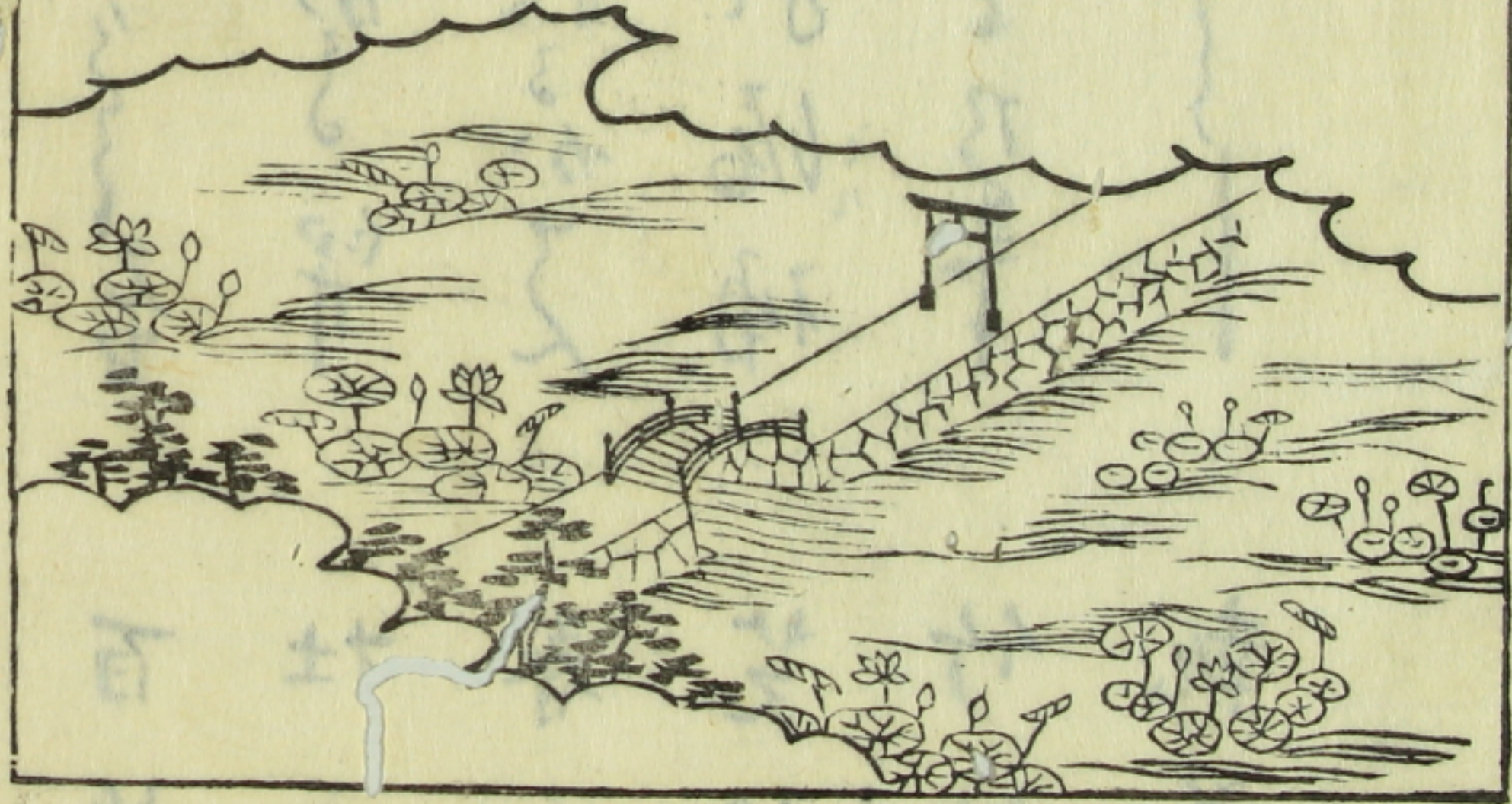
古のたのたか

執筆





緑橋象山寫



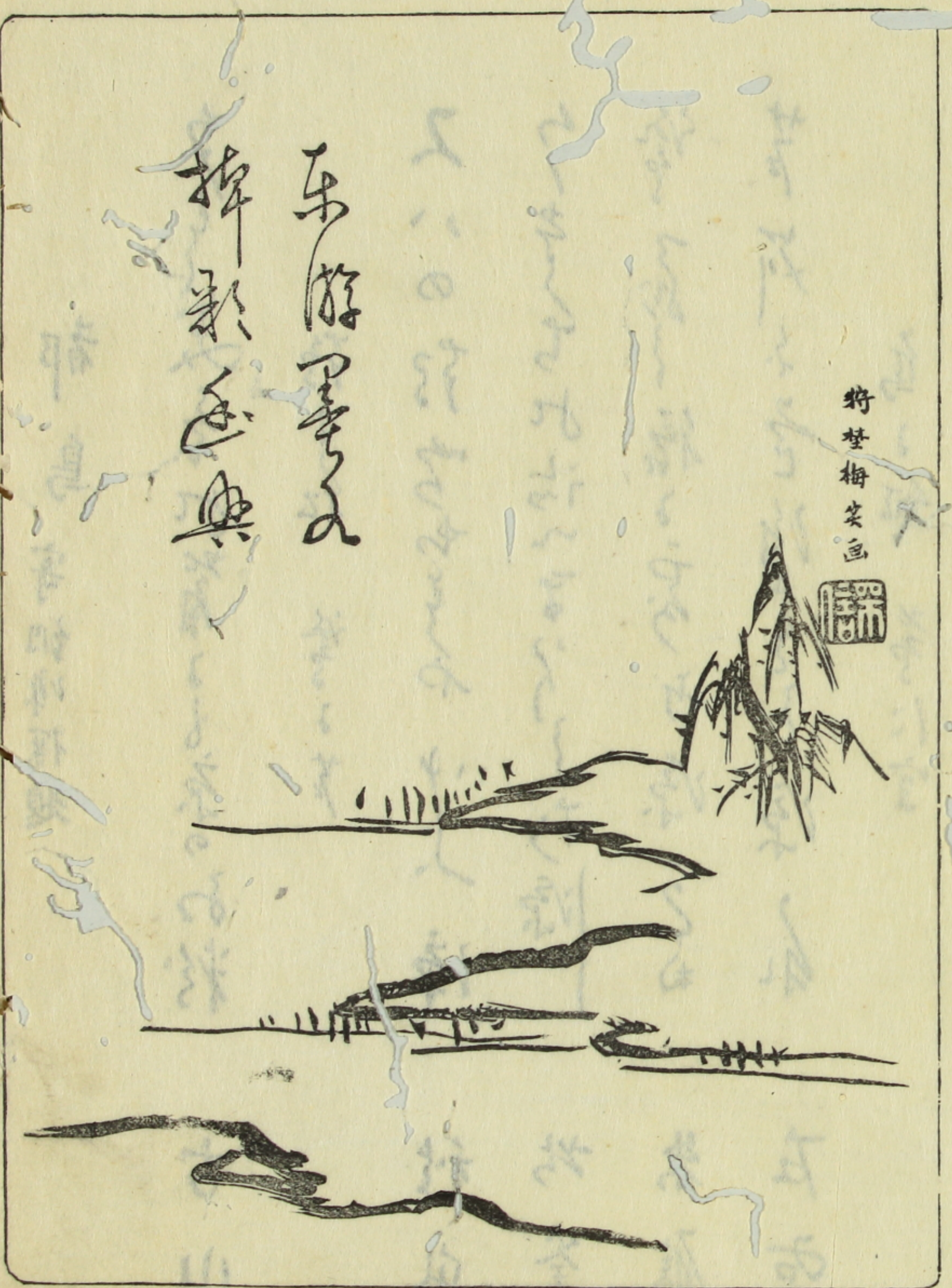
一日ふ忠の池邊に何れも好はけりて飛浮の
 園と松林を橋れある一々をわらわら
 ありとやて言はれはるおく一とて出て
 手伸くもてあそぶある一とやれ一
 猿も多し物る一とあまきれを
 一橋くをよなる酒ある一橋はこ
 令一うらまるとかの唄は
 後日無き


蓬たふや飲酒はれもの色
 碎さめに又曉や

古山
 至芳

郭麩よりいさよふくく度る道るんか
 道しれよりわか憾るるおや園の松
 桐千ハ縋子より涼し道はあま
 田へもも絶と池や蓮のうら
 蓮池やおお深の松とあま
 蓮のうらあまふかあまもはのぬ
 は清く不絶とあまふかあまもはのぬ
 吹くこいよ清くふかあまもはのぬ

古道
 竹外
 翅白
 五牛
 止絵
 葉菴
 社来
 秋瓜



将壁梅安画


東遊墨画
 折糸画典

都鳥 寄初涼探題

夕に美を此角にも京の粉

古山

鶯子松 鶯子草

又ハの鶯鳴あきわし涼

秋瓜

くさくさ此語にまじりし松涼

此釜

鶯子松に鶯子草を涼之也

若雁

昔所ふを涼を涼之也

左右

鳥子紅 鶯に空

くさくさ此語にまじりし松涼

秋光

吹くも秋紅も数あるし涼

乃雄

橋を渡るの一時わたりしみ

柯涼

涼くさくさ此語にまじりし松涼

十史

撰抄吟

寒泉舎

卯の春の力をまじりし松涼

古山

鳥乃風もまじりし松涼

冠二

花柳亭

梅の影をまはれをよむの影

古山

秋の影をよむ月影の影

此全

世味菴

投入の影の影をよむ

古山

涼の影をよむ影の影

竹外

春秋庵

夏月影をよむ影の影

古山

管好花の影をよむ

冬碎

朝夕菴

涼の影をよむ影の影

古山

日の影をよむ影の影

飛来

織月庵

水影をよむ影の影

古山

花影をよむ影の影

朱雁

花陰窗

凡もあまの古いよ入や苔花

古山

宮に於て死ぬる人のを

朝白

遠磨堂

而聲にうゝる舎の涼う香

古山

香のちとこの葉もあぬ右

五竹

歌仙堂

清のの葉もいづる葉の歌仙

古山

苔花中月は夕う月

左右

晚香舎

海岬や少屋の世を吹く系

古山

際をたるとく夕の襦

柯涼

文鱗舎

夕風よ折目を折る屋うれ

古山

水にまゝうし海に岸

漱光

右のせん或る首尾の吟等あり

るれ無からすはうまよとらん

眠神居士の旧地三能居
古きよれにさしきまをたれ
竹原村

歌仙

隣 秋のちかきよき涼

古山

詠次 空をくまらぬ夕

古道

秋掛 馬の先きののちるま

竹外

春 空のまきまの早

三禾

い ちよひのちもくもく

冬 涉

白 糸 綿の櫛の日は

秋 瓜

袖 為 きて せぬ 入れ 神 舟

道

か ち け 通らぬ 道の 色

山

船 影 腹を 影 射 舟 け へ

瓜

月 判 志 事 福を 忘 ぬ

外

松 例 を ま け ぬ 木

木

茶 干 ち 新 の 湯

涉

や ち ね を せ せ せ ち ち ち

山

月 ち ち ち の 教 子 割 練

道

くまの嶽の帳、新酒よいほら

九つとみゆき、己色の埃

十徳も花も、唐糸のほら

千印向とらふも、ききそのる

角の形も、麻の所も歩け

く川のきき、借系地打

何の障も、情しき、しつら

神も、雲のむも、しつら

やれ足も、之場の山、れ肩も

虫をきき、れ内も、あ士の干、よる

か、ほらと、とれ、きき、わを、ま

猫も、しつら、を、ほら、を、ま

草も、まも、れ、乃、上、く、ん

伴丹も、きき、を、ま、ゆ、り、居

新、月、り、の、ま、様、い、あ、い、か、合、い

新、乃、羽、き、き、を、ま、ゆ、り、居

外

禾

山

道

外

山

道

外

外

禾

山

道

外

禾

山

道

非之世道いおと子陽さるれ

法

下力かたのれを授けしる

道

川改乃子際より川へ戻れ

山

中への高化子飽ぬ夕を

外

新らる痛くもさるる此の居

木

新の河よりなる此新

山

山

山

卯月半の老山詣の程りち来る此
中を指す字に記す

栗橋川

古山

川をきい水もさるる此の居

途中

卯月半の老子の方や丸合お

神前法楽

七窓れおの河よりやまあり

行者昔よりけり

けやうとてこれけやかとてあす

重見勝

葛の葉をよきとく流のやうに

馬返村

夏草に里もや細ゆるる

中禅寺

之本千辛歎音り

了れよの枝や併れなるあま

餞別

心しふと許さん月のこころ

古道

きこえの川流白一献をまきめり
帰玉の舟を舟しこころ

酒の念もけりれ月の角田川

竹外

いこやや首途えもやと蘇我

花明

さくをちやくさめやせらるるちん

青際

招くも確のさえぬりつれ

秋実

和をよとほれあはれもこ

ト史

涼さも何れも月のそ邊に 原水

錦山に佇めし清き水 錦草

振る月影と東の秋を来 其樂

とんぼや花を押し寄せるの乳 冠二

いさやあそびの事も新しう川に 十因

新うぼよびの如しう様枕 李江

あそびもその振キや藤柳 百芳

あそびもそれ榮れど好くも 止絃

三舟と一本に葉と波と糸 百雉

秋き月や雨のしるしの中の子 飛来

雲の枝を舞うと人ほし 菊圖

又ささりとあそび子を乾かぬと 柯涼

夕のふもあそび秋風と庭裡 五竹

何ちととも清き梅枝のしるし 朝白

烟のささりと清き水と 未雁

清き水と深き水と 左右

保 汝 亦 知 其 深 的 思 緒 歸 鳥 此 筌

之 籬 の 山 陰 たり ち 山 子 ち 入 る を 送 る

糸 絲 亦 知 其 深 的 思 緒 歸 鳥 此 筌

何 事 一 年 亦 知 其 深 的 思 緒 歸 鳥 此 筌

書 一 年 亦 知 其 深 的 思 緒 歸 鳥 此 筌

簾 如 自 を 体 々 々 通 れ 叶 の 名 玉 溝

秋 凡 子 孫 の ち ち ち ち 亦 欲 巾 只 雪

秋 扇 亭

南 柳 舎

いろの 武 官 名 の 柳 や け け の 秋 李 趙

池 々 々 池 々 々 池 々 々 池 々 々 池 々 々 蔭 桂

か っ 情 々 々 々 の 大 々 々 々 々 々 桐 糸

里 々 々 々 から け 々 々 々 々 々 冠 子

親 財 々 々 屋 々 々 々 々 秋 午

つ ぎ 心 何 々 何 々 の 表 々 々 々 々 竹 雪

三 花 門 下 結 の 名 々 々 桐 の 名 三 楚

あまのゆき降りおぼろの月 可登

橋へ来りてされ定る中を渡り 双飛

蒼苔のふかき家もわらわの草 芙蓉

羽子ねこを吹かす日やれ中 露蝶

ふゆの帯しるしやねの月 里曉

にちまたゆりれ色糸さくら 柳古

よる休やゆらぬくのおもひ 無岸

他郷

けしきやまをふれきりの春 春浪

さるべきまはなぬを許せし川原 兔士

むらさき踏下姑の泣きし月の 如之

月影も枝をたるとも痛むるも 東里

名月や人しるくの思慕橋 素彦

川原を一定し押へし子規 ホトトギス 畔古

清くささるるぬえり初保 温故

何れもかれも後のかかきよの月 互推

月子たあふやうなまの月 二日坊

まの月もつよもあふくまの月 樞溪

軍へてえん原もきくじゆんせい 史員

山ゆきあふまの月上たわふの月 仙臺

わーいふいもあふくまの月 善夕

筆もあふくまの月 一色

松枝ぬき 鹿の月 山橋 吾秀

餅搦のちよ口ぬき 梅打花 亥就

まの月もあふくまの月 蝶角

おれくまの月のぬき 去路

白乃けの月もあふくまの月 六柿

清の月もあふくまの月 李仁

ワの月もあふくまの月 南為

之の月もあふくまの月 胡秋

空の月もあふくまの月 暗帆

秋の草や空の雲は見えぬ

五嶺

風流もよめてきてし

荷牛

下を染みおぼえたる

珍紅

飛ぶのこころは蓮の花

後川

長生と里れぬに

如本

本骨を言ふ心

麦水

約指の糸のかげ

山叩

管やういひ

千代

名月や掃けし

珈涼

唐のあつき

麻父

湖さよか

至芳

北斗へ

風竹

維子

斤石

杉の

李徑

梅

帯瑞

さへ

本雜

加賀

越中

飛騨

出羽

三河

遠江

川青に背をたかふふ鳥

一聲

紅紫に花を照らす

機石

しるや柳を花を管を

白馬

能くかゝる糸の心守柳の糸

隨時

好くさいの心のお似く

至水

しるや心の糸をぬる

翠紅

釣糸の糸の糸の糸の糸

對紅

しるや柳の糸を

牛乳

初秋の糸を

常陸

青却

しるや柳の糸を

也亭

しるや柳の糸を

画水

しるや柳の糸を

松下

しるや柳の糸を

加原

しるや柳の糸を

之六

しるや柳の糸を

庵文

しるや柳の糸を

豆花

雨土のうらみをいづるに

市中

はあつた人のあつたに

掉雪

舟橋のたもとをいづるに

一瓢

ちりりたる雨のあつたに

花紅

かきつばたのあつたに

願月

入あつたに

分白

まけ入のあつたに

淋雪

清きやあつたに

風尾

名月や桐乃標もあつたに

星槎

初まゝのあつたに

曲全

何者の紙もあつたに

芭蕉

いづれもあつたに

飄尾

凡れもあつたに

良歌

二之段もあつたに

紫立

たふさふさあつたに

青全

あつたに

吾山

常の如習いんをれ控も

巨山

一枚子十日少う候と申様うれ

挿儿

高崎の崩も厚くは家おれ

足櫓

望寺子とあり合せし時雨之雨

滄州

石山子とてしとて葉摘月

山槐

草押や梅子約し控も木の根

中伺

凡流の朝と暮の家や善化程候

百川

名月や京子とて車引く意候川

大阜

うんこをいふと折れしつゝあつり

麦林

号りて川流やとさよとつり

茂秋

初土乃とありぬ意候也

子代女

口のねつとて人しんるま

司勤

之孫子とて心さおあれり

梅路

名月や風とてえとて

希因

花子の家やとて

柳居

三十一

遠くも巨魁の山の中

如台

削り何れも後よ

朱雁

重なるもの

柯原

軍の流るる飯の

似

仲人の精細なる

山

軒れ下れ

峯

梅の可の内

牛

釣を

白

月を

光

馬を

山

月を

右

山を

牛

筆の

雁

神の

涼

酒の

瓜

山を

光

白鳥 河津 柳 樹 あり 人 見 ぬ 果 然

神 事 なる こと あり 松 竹

左 近 江 守 藤 原 氏 あり 山

望 の 方 なる 柳 竹 あり 池

吹 流 なる 枝 なる ぬ 月 の 舟

小 舟 なる 流 なる 舟 あり

河 なる 水 なる 中 津 の 舟 あり

大 なる 舟 なる 舟 あり 舟 あり

白

右

荅

雁

光

白

右

荅

ナ

下 なる こと なる 又 なる 後 なる 舟

舟 なる 舟 なる 舟 あり 舟 あり

舟 なる 舟 なる 舟 あり 舟 あり

舟 なる 舟 なる 舟 あり 舟 あり

舟 なる 舟 なる 舟 あり 舟 あり

舟 なる 舟 なる 舟 あり 舟 あり

源

瓜

山

升

雁

源

此一編をよむ御橋の御家... 東武

寶曆二壬申年初秋日 中黒菴連中

書林

武江淺草御堂前 辻村五兵衛 京師寺町通 井筒屋庄兵衛

丹本

甲

加物

...

